

令和7年度 登別市立登別中学校 学校経営方針

1 本校の教育目標

校訓

(知) すすんで学び 正しく判断する	・ 清く
(徳) 思いやりを持ち 厳しさに耐える	・ 明るく
(体) 命を大切にし 心身を鍛える	・ 大らかに

2 目指す学校像・生徒像・教師像

○目指す学校像：安全安心な学校

楽しく活気のある学校
地域に信頼される学校

○目指す教師像：経営参画意識を持ち、組織として協働する教師

生徒とともに汗を流す教師
教職に対する強い情熱を持ち、生徒の力を引き出せる教師

○目指す生徒像：自分の考えを深め、表現できる生徒（表現する力）

自他を大切にし、思いやりを持つ生徒（思いやる心）
何事にも挑戦し、やり抜く生徒（やり抜く力）

3 学校経営基本方針

『子どもの命を守り、社会に出たときに活躍できる生徒の育成』

さらに、目指す資質能力を、「表現する力」「思いやる心」「やり抜く力」とした。

表現できるとは…自分の考えを深める

自分の目標を持つ
自分の思いを明らかにする
実行する
達成する

思いやるとは…他者を尊重する

自他を大切に
協働する
助け合う
励まし合う

やり抜くとは…可能性を信じあきらめない

課題や困難に立ち向かう
挑戦する

これらの資質能力を様々な教育活動の中で育てていくために教育活動のねらいとしていく。
この目指す資質能力は小学校とも連携を図っている。文言は違うが、小学校の育成すべき資質能力を「共生」「協働」「表現」「継続」としている。

4 学校経営推進の基本姿勢

(1) 「表現する力」「思いやる心」「やり抜く力」の3つの資質・能力の育成

(2) 自己有用感を高める教育活動の推進

～「居場所づくり」「絆づくり」「授業づくり」～

- (1) 教育活動の中で「表現する力」「思いやる心」「やり抜く力」に迫ることができるように、ねらいの中に3つの力を盛り込んでいく。
- (2) 自己有用感とは、「他者や集団との関係の中で自分の存在が価値あるものとして受け止める感覚」のこと。自己有用感を高めるためには、学校生活の中で生徒の望ましい人間関係を築いていく必要がある。その関係を築く場所として「居場所づくり」「絆づくり」「授業づくり」に心がける。
 - 「居場所づくり」…学級や学校をどの生徒にも落ち着ける場所にしていく。
 - 「絆づくり」…学校生活において全ての生徒が活躍できる、困難なことを乗り越えられる場を作っていく。
 - 「授業づくり」…生徒が最も長い時間を過ごす授業。授業が生徒にとって最大の居場所になるように、わかる授業づくりを進めていく。

5 学校経営重点事項推進の視点

(1) 確かな学力の育成

- ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進
 - ・課題・まとめの提示と振り返りの徹底

「主体的・対話的で深い学び」とは、

- 学ぶことに興味関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」を実現すること
- 子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考え方を広げ深める「対話的な学び」を実現すること
- 習得・活用・探究という学びの過程の中で各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を交互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えをもとに創造したりすることに向かう「深い学び」を実現すること

②個別最適な学び・協働的な学びの実現に向けた授業改善の推進

- ・ICTを活用した協働的な学びや個別最適な学びの推進

「個別最適な学び」とは、

- 「個に応じた指導」（指導の個別化と学習の個性化）を学習者の視点から整理した概念で習指導要領では「個に応じた指導」を一層重視し、指導方法や指導体制の工夫改善により「個に応じた指導」の充実を図ること。
- 「指導の個別化」とは、
基礎的・基本的な知識・技能等を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等や、自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組む態度等を育成するため、支援が必要な子供により重点的な指導を行うことなど効果的な指導を実現し、特性や学習進度等に応じ、指導方法・教材等の柔軟な提供・設定を行うこと。
- 「学習の個性化」とは、基礎的・基本的な知識・技能等や情報活用能力等の学習の基盤となる資質・能力等を土台として、子どもの興味・関心等に応じ、一人一人に応じた学習活動や学習課題に取り組む機会を提供することで、子ども自身が学習が最適になるように調整すること。

③家庭と連携した家庭学習・生活習慣の改善

④全国学力・学習状況調査やCRTの結果を踏まえた学力向上策の検討

⑤ICTを活用した生徒の情報活用能力の育成

(2) 豊かな心の育成

①道徳科を中心とした授業の充実

②いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期解決

③自己有用感を育む教育活動の推進

④「SOS の出し方に関する教育」を含めた自殺予防教育の推進 ※いじめ避難訓練の実施

(3) 健やかで強い体の育成

①体力・運動能力の向上を目指した取組の推進と小学校との連携強化

②学校保健・学校安全の意識を高める取組の推進

③家庭と連携した規則正しい生活習慣の確立に向けた取組の推進と小学校との連携強化

6 学校経営の重点

(1) 教育課程

① 小学校と連携した9年間を見通した学力向上策の改善・充実

② 「表現する力」「思いやる心」「やり抜く力」の育成を目指した教育課程の推進

③ 令和9年4月幌別中学校との統合を踏まえた教育課程における調整等の諸準備の推進

(2) 学年・学校経営

① 発達段階を踏まえた学年・学級経営の充実

② 生徒理解研修等の実施による生徒理解と、いじめ・不登校の未然防止・早期対応・早期解決への取組推進

③ 教職員の能動的な関わりの強化

(3) 研修活動

① 課題解決に向けた教科指導を中心とした校内研究の推進

② 校外研修への積極的な参加と成果の還元

③ 人材育成指標を活用したキャリアステージに応じた研修の推進

(4) 家庭・地域との連携

① 各種通信やHPによる保護者・地域への積極的な情報発信

② 9年間の系統性を意識した学習・生活習慣の改善

② 地域人材を活用したキャリア教育等の充実

(5) 危機管理

① 危機管理マニュアルの改善充実

② 地域と連携強化した避難訓練の実施

③ 生徒会主体のいじめ撲滅運動の推進

(6) 職場環境の整備

① 業務改善に向けたコアチームの活動の推進

② 服務規律の保持など研修の推進

7 指導の重点

(1) 学習指導

- ①課題・まとめの提示と振り返りを徹底した授業の推進
- ②ICT 機器を積極的に活用した個別最適化と協働的な学習の推進
- ③各種調査結果を踏まえた課題解決に向けた組織的・計画的な取組(書くこと・説明すること)

(2) 生徒指導

- ①いじめや不登校の未然防止・早期対応・早期解決の取組の推進
- ②「SOS の出し方に関する教育」を含めた自殺予防教育の推進 ※いじめ避難訓練の実施
- ③性的思考・性自認などの多様性への対応を図る研修の推進

(3) 道德教育

- ①全教職員が道德の指導に当たる体制の構築
- ②地域人材の積極的な活用
- ③生徒の豊かな心の涵養を目指す、生徒会のいじめ撲滅集会等の推進
- ④自己有用感を育む道德教育の推進

(4) 特別活動

- ①生徒の主体性に基づく生徒会・委員会活動の充実
- ②目標や課題に立ち向かう場の設定を意識した教育活動の推進

(5) 総合的な学習の時間

- ①地域の特色を生かした問題解決的な学習活動の展開
- ②地域伝統芸能「熊舞」を中心としたふるさと教育の推進
- ③キャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実

(6) 健康安全指導

- ①体育科を中心とした体力・運動能力の向上を図る取組の推進
- ②健康安全指導（薬物乱用防止教室・思春期教室・スマホ携帯安全教室等）の充実
- ③食に関する指導の充実

(7) 特別支援教室

- ①特別支援コーディネーターを中心とした校内支援委員会の体制づくり
- ②生徒個々に応じた交流・共同学習の推進
- ③生徒個々の合理的配慮の共有
- ④教室環境の整備やユニバーサルデザインの推進